

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立打上小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの項目で成果指標が達成できた。しかし、そのための準備等に時間がかかり、働き方改革が思ったほど進まなかった。</li> <li>3年間の人権・同和教育の研究が終了した。今年度は、新たな気持ちで、算数科を中心とした校内研究を進めていく。</li> <li>コロナ禍における一人一台タブレットの活用が急務である。そのための職員同士の情報交換と職員研修の充実を図りたい。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	学ぶ力とかかわる力を持ち たくましく生きる子どもの育成
----------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	① 学力向上「一人一台端末活用の推進」「子どもが活躍する授業づくり」 ② 豊かな心「人権教育の推進」「体験活動の充実」 ③ 健康・体づくり「早ね・早起き・朝ごはんの推奨」「外遊び・体力づくりの奨励」
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							(学力向上CD・研究主任・6年担任) 吉田・永田
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答えた児童80%以上	・行事や授業を通して、自分の夢や目標について考える場面を設ける。 ・「なかよし学習」を進め、毎時間振り返りの視点を示して振り返りを行うことで、達成感や自分の成長を感じさせる。							(キャリアパスポート担当・特活部) 諸岡・古館
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳授業の充実と支持的風土の学級経営により、人権意識や自己肯定感、規範意識の涵養が出来た児童80%以上	・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・児童の実態に合わせた内容を取り上げ、身近な問題として考えさせるようにする。							(道徳教育推進教師・人権・同和教育担当・生活主任) 尾島・浜中
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教職員80%以上	・なかよしアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・日々の児童観察を大切に、アンケートに表れていない面についても、気になることの早期発見・早期対応に努める。 ・毎月の生活指導協議会で対応の仕方を協議し、組織的な対応を行う。							(生徒指導・いじめ防止担当) 浜中・吉田
	○特別活動による自主的実践的な態度の育成	○「よく見る・よく聞く・よく考える」を合い言葉に、学習や活動に真剣に取り組むことができた児童80%以上	・活動の前にはめあてを確認し、意識させ、活動の後には振り返りの場を設けて、頑張りや協力の視点で発表させたり、まとめたりする。 ・授業中の友達の発言をしっかりと聴くよう指導し、話す人も相手を意識させる。							(特別活動部) 永田・諸岡
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	◎「健康な食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・保護者への啓発と児童への声かけを頻繁に行う。							(栄養教諭・保健担当) 宮崎・宮崎
	○体力向上を意識した取組み	○アンケートで「元気に外遊びや体力づくりができた」と答えた児童80%以上	・体育の行事や授業の中で、児童一人一人がめあてを持って体力向上に取り組むことができるようにする。 ・外遊びを日常的に促す。							(保体部) 中尾・田代
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・時間外勤務時間を月平均30時間以内を目指す。(年間360時間以内) ・業務の精選と効率化を図り、質の高い業務内容を目指す。							(服務・業務の効率化担当) 山本・横内

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○ICT利活用教育の推進	○一人一台端末活用の推進	○一人一台タブレットを活用できた児童と教師80%以上	・教職員間でタブレットの活用法を共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							(ICT担当・授業力向上担当) 田代・中尾

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--